

暫定版 2020年10月5日

日本人口学会 第72回大会

Population Association of Japan

The 72nd Annual Meeting of the Population Association of Japan

2020年11月14日(土)～11月15日(日)

オンライン開催

共催 埼玉県立大学

日本人口学会会長 小島宏(早稲田大学)

大会運営委員会 坂井博通(委員長 健康開発学科) 本間三恵子(副委員長 健康開発学科) 丸山優(副委員長 看護学科) 南拓磨(委員 研究開発センター) 中山真理(委員 健康開発学科) 吉永亜子(委員 健康開発学科) 北畠義典(委員 健康開発学科)

大会企画委員会 黒須里美(委員長 麗澤大学) 井上孝(副委員長 青山学院大学) 影山純二(明海大学) 小西祥子(東京大学) 中川雅貴(国立社会保障・人口問題研究所) 中澤港(神戸大学) 村山聡(香川大学) 井上希(幹事 国立社会保障・人口問題研究所) K. Dilhani Wijesinghe(幹事 麗澤大学)

2020年11月14日(土) 第1日

午前部

テーマセッション

9:00～11:00 テーマセッション

「小地域データを用いた人口分析とその応用」

組織者：中川雅貴(国立社会保障・人口問題研究所)

座長：井上孝(青山学院大学)

討論者：中川雅貴(国立社会保障・人口問題研究所)

貴志匡博(国立社会保障・人口問題研究所) 「小地域における住基人口と国調人口」

長谷川普一(新潟市都市政策部GISセンター) 「境域を用いて作成した縦断情報について」

井上希(国立社会保障・人口問題研究所) 「小地域別人口統計を用いた過疎地域研究」

自由論題A

9:00 ~ 11:30 自由論題A-1「数理・統計」

座長：大泉嶺（国立社会保障・人口問題研究所），稲葉寿（東京大学）

古家士朗（ウイスコンシン大学メディソン校・院）・フレッチャージェイソン（ウイスコンシン大学メディソン校）・呂琮石（ウイスコンシン大学メディソン校）「同時多発テロに対する反応の遺伝子レベルにおける異質性」

衣笠智子（神戸大学）・安田公治（青森公立大学・神戸大学）「成人寿命の教育への影響に関する計量的研究」

西村教子（公立鳥取環境大学）「危険回避と時間選好が男性の晩婚化・未婚化にもたらす影響」

原俊彦（札幌市立大学）「持続可能な人口の原理：成長の限界と人口波動モデル」

池周一郎（帝京大学）「なぜブルターニュ半島の出生力低下が遅れたのか - 反応拡散説のみがそれを説明する -」

9:00 ~ 12:00 自由論題A-2「歴史人口」

座長：平井晶子（神戸大学），村越一哲（駿河台大学）

大塚友美（日本大学）「大日本主義時代の人口政策の帰結」

廣嶋清志（島根大学）「戸籍人口統計からの分離—国勢調査の開始」

高橋美由紀（立正大学）・高島正憲（関西学院大学）「明治期民勢地図にあらわれた社会問題：府県別死産統計の分析」

津谷典子（慶應義塾大学）・黒須里美（麗澤大学）「世帯の社会経済的地位と死亡：近世東北3農村の事例」

長岡篤（麗澤大学）・黒須里美（麗澤大学）・高橋美由紀（立正大学）「近世東北における陸奥国二本松藩町村と越後国との人口移動」

村山聡（香川大学）・グルーリヒヨゼフ（南ボヘミア大学）「18世紀後半の東欧・南ボヘミアにおける冷夏と不作の環境史：再版農奴制の人口学的再検討」

午後の部

企画セッション①

13:00 ~ 16:00 企画セッション①

「100周年を迎えた国勢調査—歴史と展望—」

組織者：川崎茂（日本大学）

座長：川崎茂（日本大学）

討論者：小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）

川崎茂（日本大学）「人口学の発展における国勢調査の歴史的役割」

大崎敬子（常磐大学）「世界における人口センサスの動向」

阿向泰二郎（総務省統計局）「2020年国勢調査の実施について」

加藤久和（明治大学）「経済分析の観点からみた国勢調査の課題と展望」

井上孝（青山学院大学）「地域分析の観点からみた国勢調査の課題と展望」

小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）「地域人口分析における国勢調査データの活用例」

自由論題B

13:00 ~ 15:30 自由論題B-1「アジア研究」

座長：松浦司（中央大学）、衣笠智子（神戸大学）

翁康容（Weng Kangjung）（臺灣國立中正大學）・楊靜利（臺灣國立中山大學）・任軒立（臺灣國立中山大學）「How does Education Matter? Relative and Moderating Effect of Education on the Division of Domestic Work in Taiwan」

影山純二（Junji Kageyama）（明海大学）「Gender Preferences for Children, Fertility Behavior, and Happiness: A Taiwan-Japan Comparison」

梁凌詩ナンシー（Leung Ling Sze Nancy）（東洋大学）「The Change of Social and Economic Factors of the Lowest-low Fertility in Hong Kong: A comparative study between 1980s-1990s and 2000s-2010s」

可部繁三郎（日本経済新聞社）「台湾における大学院卒者の家族形成」

西川由比子（城西大学）「インドにおける人口ボーナス期の就業構造変化」

総会（開催校挨拶・講演、学会賞授与、会員総会）

16:15 ~ 18:00 総会（開催校挨拶・講演、学会賞授与、会員総会）

座長：坂井博通（埼玉県立大学）

萱場一則（埼玉県立大学学長）「感染症pandemicとpopulationへのまなざし」

2020年11月15日（日）第2日

午前部

企画セッション②

9:00 ~ 12:00 企画セッション②

「生物人口学理論の現況報告—理論研究からデータ解析まで—」

組織者：高田壮則（北海道大学）、大泉嶺（国立社会保障・人口問題研究所）

座長：高田壮則（北海道大学）

高田壮則（北海道大学）「一回繁殖型植物のEvolutionary demography – 数理モデル解析とデータベース解析の融合 –」

大泉嶺（国立社会保障・人口問題研究所）・稲葉寿（東京大学）・高田壮則（北海道大学）「日本の人口減少の数学的構造～地域間移動と出生力差が示す人口動態への定量的影響～」

杉山友規（東京大学）「経路積分による個体群動態方程式の解析と系譜木上の状態推定」

森田一理（東京大学）「進化から見たヒトの少子化と繁殖戦略—実証研究のレビューを中心に—」

自由論題C

9:00 ~ 11:00 自由論題C-1「地域」

座長：原俊彦（札幌市立大学）、萩原潤（宮城大学）

中川雅貴（国立社会保障・人口問題研究所）・千年よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）

「成人子の居住地移動と親子の居住関係および居住距離—非大都市圏へのUターン移動との関連を中心に—」

平井晶子（神戸大学）「外国人住民の結婚と出生 — 『兵庫県豊岡市の外国人住民に関する調査研究』を用いて—」

菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）「戦後わが国における長寿化、晩婚・未婚化と就業パターンの地域格差」

冬月律（麗澤大学）「過疎地神社と寺院の現状と課題—宗教団体の基幹調査から—」

9:00 ~ 11:30 自由論題C-2「家族と性」

座長：丸山洋平（札幌市立大学）、岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）

藤野敦子（京都産業大学）「日本的雇用と家族—夫の転勤が夫婦の関係性・子供数に与える影響—」

吉田千鶴（関東学院大学）「日本の夫婦の生活時間配分と子ども」

守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）「日本における無子志向の未婚男性に関する分析」

小島宏（早稲田大学）「近年の日本における婚前同棲経験の関連要因」

森木美恵（国際基督教大学）・松倉力也（日本大学）「生殖世代の性的欲求の度合い：性交渉と自慰行為」

午後の部

自由論題D

13:00 ~ 15:00 自由論題D-1「人口統計」

座長：中澤港（神戸大学），金子隆一（明治大学）

鎌田健司（国立社会保障・人口問題研究所）・小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）・菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）・山内昌和（早稲田大学）「市区町村別にみた将来の人口増加率の要因分解」

吉岡茂（立正大学）「外国人労働者受け入れの及ぼす日本人口への影響」

石井太（慶應義塾大学）・林玲子（国立社会保障・人口問題研究所）・篠原恵美子（東京大学）・別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）「複合死因間関連分析へのネットワーク分析の応用」

別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）・石井太（慶應義塾大学）・林玲子（国立社会保障・人口問題研究所）・篠原恵美子（東京大学）「複合死因データを用いた糖尿病と関連死因の人口学的分析」

13:00 ~ 15:30 自由論題D-2「アフリカ研究」

座長：小島宏（早稲田大学），津谷典子（慶應義塾大学）

林玲子（国立社会保障・人口問題研究所）「アフリカの高出生と日本（東アジア）の超低出生：どちらが幸せか」

増田研（長崎大学）「人口急増のアフリカに芽生える少子化希求：エチオピア南部バンナ社会の変化を追って」

島村由香（日本学術振興会特別研究員PD・国際基督教大学）・松田浩敬（東京農業大学）「親・子ども間の富の流れと生殖戦略：ルワンダを事例として」

大橋慶太（国連人口基金）「サブサハラ・アフリカの高出生率は幸福か？－希望子ども数と理想子ども数－」

13:00 ~ 16:00 自由論題D-3「出生」

座長：梅崎昌裕（東京大学），森木美恵（国際基督教大学）

松田茂樹（中京大学）「夫と妻の就業状態が出生に与える効果」

逢見憲一（国立保健医療科学院）「国民優生法・優生保護法下の不妊手術・人工妊娠中絶に関する定量分析」

加藤承彦（国立成育医療研究センター）・三瓶舞紀子（国立成育医療研究センター）・齊藤和毅（東京医科歯科大学）「不妊治療（体外受精）を始める女性のこころの状態」

丸山洋平（札幌市立大学）「人口再生産指標に人口移動の影響を反映させる試み」

岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）・鈴木貴士（筑波大学・院）「人口・子育て環境の地域性と出生力」

小西祥子（東京大学）「第1子の妊娠待ち時間と第2子出生のタイミング－妊孕力と出生力の関連についての予備的分析－」

【研究報告について】

- ・自由論題の報告は、1発表あたり報告15分、質疑応答は10分、合計25分です。
- ・企画セッション とテーマセッションに関しては、組織者に時間配分を一任します。
- ・当日の資料配布はズームを通じて可能ですが、配布するかどうかは任意です。要旨付プログラムのWEB公開は例年通り行います。